

真岡市徘徊高齢者 QR コード利用事業

真岡市徘徊高齢者 QR コード利用事業とは、認知症の高齢者が徘徊で行方不明になったときや、警察等の関係機関で保護された際に、衣類や杖などに貼り付けた「QR コードシール」を読み取り、早期に身元が確認できる仕組みです。

- 申し込み方法：地域包括支援センターもおか、地域包括支援センターにのみやの窓口を設置している申請用紙を記入し提出
- 利用料金：1年間のみ無料（2年目以降は3,300円/年）
- シール代：1枚のみ無料（2枚目以降は1,100円/枚）
- 仕様：A4サイズのシールタイプまたはアイロンタイプ



▲ QR コードシール



真岡市認知症初期集中支援チーム

～認知症は“早期発見・早期対応”が大切です～

認知症初期集中支援チームとは？ 医師や保健師、社会福祉士等の専門職で構成される、認知症またはその疑いのある方と、そのご家族を支援するチームです。

活動内容は？

認知症またはその疑いのある方やご家族との話し合いを通じ、必要に応じて介護保険サービスの利用や、医療機関の受診に関する説明や助言を行います。
認知症の早期診断・早期対応に向けた支援をしています。

支援する対象者は？

市内在住の40歳以上かつ自宅で生活している方で、認知症またはその疑いのある方のうち、下記①～④いずれかに該当する方

- ①認知症の診断を受けていない方
- ②継続的な医療を受けていない方
- ③適切な介護保険サービスを利用していない方や、利用を中断している方
- ④医療・介護サービスを受けているが、認知症による症状が強く、対応に困っている方



認知症や介護の相談は、下記へ問い合わせください。

【問い合わせ】地域包括支援センターもおか(いきいき高齢課内) ☎ 83・8132 FAX83・6335
地域包括支援センターにのみや(二宮コミュニティセンター内) ☎ 74・5139 (FAX 兼)

9月はアルツハイマー月間です

国際アルツハイマー病協会は、1994年に世界保健機関(WHO)と共同で9月21日を「世界アルツハイマーデー」、9月を「世界アルツハイマー月間」と決めました。

アルツハイマー病は、認知症を引き起こす主な病気の一つです。9月は「世界アルツハイマーデー」を中心に世界各地で認知症の啓発を実施しており、市でも認知症に関するさまざまな取り組みを行っています。この機会に認知症の理解を深めましょう。

市の取り組みの一部を紹介します！

認知症サポーター養成講座

認知症の人やその家族が安心して暮らせるよう、認知症サポーター養成講座を実施しています。認知症サポーターとは、何か特別なことをする人ではなく、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者です。

受講者にはオレンジリングをプレゼントします。



▲ 4月の養成講座の様子

市では地域住民向けに養成講座を毎月実施しているほか、依頼のあった地域や企業、学校等で出前講座も開催しています。

詳しくは「Weekly News もおか」を確認ください。また、参加希望の方は地域包括支援センターまで問い合わせください。



▲ Weekly News もおかQRコード



▲ オレンジリング

開催場所	実施日			
市公民館第7会議室	10月14日(水)	12月9日(水)	2月10日(水)	
二宮分館202会議室	9月9日(水)	11月11日(水)	1月13日(水)	3月10日(水)

市立図書館の認知症コーナー

市立図書館にて、認知症コーナーを設けています。認知症に関する体験記や絵本、認知症関連のチラシなどを置いてありますので、この機会に手に取ってみてください。

期間：9月1日(火)～10月4日(日)
場所：市立図書館内



▲ 認知症コーナーの様子